

<b>【技術の名称】</b> 鋼管コッター (T0-STC) 工法 －鋼管コッターを用いた耐震補強工法－ (改定6)	性能証明番号 : GBRC 性能証明 第 03-04 号 改 6 性能証明発効日 : 2019 年 6 月 19 日 <b>【取得者】</b> 戸田建設株式会社
--	---

### 【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造の既存骨組に、鉄筋コンクリート耐震壁または鉄骨ブレース (以下、増設部材と称する) を増設する耐震補強工法として、2003 年 9 月 2 日付けで GBRC 性能証明 第 03-04 号を取得したものである。

2006 年 11 月 7 日の改定では、超高強度繊維補強コンクリートブロック (以下、UFC ブロックと称する) を組積した耐震壁 (以下、UFC ブロック耐震壁と称する)、ならびに鉄骨ブレースと既存骨組の接合に用いる充填材として有機短繊維を混入した高靱性モルタルを適用範囲に追加し、高靱性モルタルを使用することにより、鋼管コッター接合部におけるつなぎ筋とフープ筋を省略できるとしている。2008 年 7 月 1 日の改定では、高靱性モルタルを充填した組積補強コンクリートブロック (以下、RM 組積体と称する) を用いた耐震壁 (以下、RM ブロック耐震壁と称する)、2009 年 3 月 3 日の改定では、外側枠付き鉄骨ブレース補強への鋼管コッターの適用を追加し、2010 年 10 月 8 日の改定では、開口付き RM ブロック耐震壁を追加し、鋼管コッター間隔の規定を変更している。2012 年 3 月 8 日の改定では、枠付き鉄骨ブレース架構増設工法への鋼管コッターの適用を追加している。

### 【改定の内容】

- 新規 : GBRC 性能証明 第 03-04 号 (2003 年 9 月 2 日)  
改定 1 : GBRC 性能証明 第 03-04 号 改 (2006 年 11 月 7 日)
- ・ UFC ブロック耐震壁を適用対象に追加
  - ・ 充填材として高靱性モルタルを追加
- 改定 2 : GBRC 性能証明 第 03-04 号 改 2 (2008 年 7 月 1 日)
- ・ RM ブロック耐震壁を適用対象に追加
- 改定 3 : GBRC 性能証明 第 03-04 号 改 3 (2009 年 3 月 3 日)
- ・ 外側枠付き鉄骨ブレースを適用対象に追加
- 改定 4 : GBRC 性能証明 第 03-04 号 改 4 (2010 年 10 月 8 日)
- ・ 開口付き RM ブロック耐震壁を適用対象に追加
  - ・ 鋼管コッター間隔の規定を変更
- 改定 5 : GBRC 性能証明 第 03-04 号 改 5 (2012 年 3 月 8 日)
- ・ 枠付き鉄骨ブレース架構の増設を適用対象に追加
- 改定 6 : GBRC 性能証明 第 03-04 号 改 6 (2019 年 6 月 19 日)
- ・ 工具・機器名称や取り扱い方法を変更
  - ・ 施工手順、鋼管コッター製作手順の変更
  - ・ 断面補修時の強度確認方法の変更、鋼管埋込み深さの規定追加
  - ・ UFC ブロック製作時の養生方法の変更

### 【技術開発の趣旨】

鉄筋コンクリート耐震壁または鉄骨ブレースを増設する従来の耐震補強工事では、多数本のあと施工アンカーの施工に伴う騒音、振動、塵埃や施工欠陥など種々の問題が発生する。本工法は、これらの問題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

### 【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「鋼管コッター (T0-STC) 工法 設計要領」、「鋼管コッター (T0-STC) 工法 施工要領書・製作要領書 (指針)」に従って設計・製作・施工された増設部材と既存骨組からなる耐震補強架構は、同要領で定める終局耐力および変形性能 (耐震診断において用いる靱性指標 F 値) を有する。

### 【本技術の問合せ先】

戸田建設株式会社 価値創造推進室 技術開発センター  
〒300-2622 茨城県つくば市要 315

担当者 : 石岡 拓 E-mail : taku.ishioka@toda.co.jp

TEL : 050-3818-3718 FAX : 029-864-3312